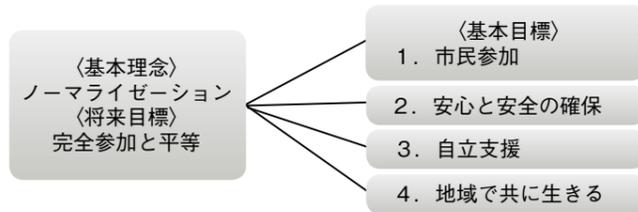


◆「新なんこくフライト・プラン～第2次南国市障害者基本計画～」の概要

この計画では、以下の「4つの基本目標」をもって障害者福祉の推進を目指します。それぞれの目標ごとに、計画の概要や主な取り組みを紹介いたします。なお、南国市のホームページ（<http://www.city.nankoku.kochi.jp>）に計画の全文を掲載しています。



●基本目標1 「市民参加」

広報や啓発活動、毎年開催している「なんこくボランティアDAY」「土佐のまほろば祭り」などの交流活動、ボランティア育成活動などを充実させて、皆が互いに支え合っていく共生のまちづくりを進めていきます。

また、「南国市障害者自立支援協議会」で、意見交換や障害者計画の進捗状況の確認などを行い、福祉サービスの向上につなげていきます。

計画されている施策の抜粋
○広報で啓発活動や情報提供を行います。
○南国市のバリアフリー対応施設や相談機関などを記載した「ハートフルマップ」の最新版（平成22年度）を作成します。
○障害がある方への理解を深めるための講座を開催し、ボランティアを養成します。

●基本目標2 「安心と安全の確保」

障害の予防や早期発見などのための保健活動の充実、また、相談支援や福祉サービス提供体制の充実を図るなどして、障害があっても、安心して暮らしていけるシステムづくりを行います。

障害がある児童に対しては、市内各保育所（園）で加配保育士などを配置したり、学校教育との連携を強化したりするなど、保育所と学校との間で計画的に支援できる体制づくりを進めていきます。

計画されている施策の抜粋
○重度心身障害者を対象とした相談支援機関を増やします（平成22年度から「土佐希望の家」に委託）。
○市内でのグループホーム・ケアホームの新規設置を進めます（目標：平成26年度までに3カ所）。
○「児童の長期休暇事業（夏休みなどの一時預かり）」を実施します（平成22年度から）。
○北陵中学校体育館の耐震化工事でスロープを設置、香長中学校の校舎建て替えでエレベーター、身障者用トイレを設置します（平成22年度）。

●基本目標3 「自立支援」

関連制度の充実や周知徹底、障害者支援のために活動している関連委員などの活動の充実を図ります。また、災害や緊急時に、障害があっても無事に避難できるような体制の確立や、雇用、就労の充実などを進め、障害者が主体性を持って暮らしていける環境づくりを推進します。

計画されている施策の抜粋
○「要援護者台帳」の整備を進めるなど、災害時の支援体制の整備に取り組んでいきます。
○市職員における法定雇用率以上の障害者雇用を、今後も行っていきます。
○障害者が働ける場である小規模作業施設などの新たな設置を支援し、整備を進めます。

●基本目標4 「地域で共に生きる」

文化活動やスポーツ活動、レクリエーション活動が活発に行える環境を整え、障害がある方の社会参加を促進していきます。また、障害者にやさしい道づくりや、公共施設などのバリアフリー化、移動手段の充実、居住環境の整備などを行い、誰もが地域で安心して生活できる環境づくりを進めます。

計画されている施策の抜粋
○新しい活動の考案などを行い、レクリエーション活動の充実を図ります。
○「福祉タクシー利用券・福祉給油券」の交付対象者の拡大を検討します（目標：平成23年度に一定程度以上の精神障害を対象に追加）。
○三和地区公民館のバリアフリー化（平成24年度）。

※お問い合わせは、福祉事務所社会係（☎880-6566）まで

第2次南国市障害者基本計画を策定

南国市では、昨年度まで『なんこくフライト・プラン～南国市障害者計画～』（平成12年度～21年度の10年計画）に基づき、ノーマライゼーション（障害があっても障害がない人と同じように地域社会の一員として生活がで

きる社会づくりを目指す考え方）の推進に取り組んできました。この度、22年度からの5年間を計画期間とする『新なんこくフライト・プラン～第2次南国市障害者基本計画～』を策定しましたので、お知らせします。

◆「新なんこくフライト・プラン～第2次南国市障害者基本計画～」とは？

「新なんこくフライト・プラン～第2次南国市障害者基本計画～」は、南国市の障害者の状況を踏まえ、南国市が今後取り組んでいく障害者施策などを計画したものです。障害があってもなくても、社会の一員として社会、経済、文化など、あらゆる利益を平等に受けられる「完全参加と平等」を目標（目指す社会の姿）としています。市民の皆さんと共に計画を進め、障害者福祉の増進を図りたいと考えています。



◆過去約10年間の南国市における障害者福祉に関する事業の実施状況について

平成10年度～	「なんこくボランティアDAY」を毎年開催
平成11年度～	「障害者卓球大会南国市長杯」を毎年開催
平成12年度	「福祉タクシー利用券・福祉給油券」の交付対象者を拡大（心臓機能障害1級を追加）
平成13年度	在宅の身体障害者に、車いすが積める「リフト付きワゴン車」の貸し出しを開始
平成14年度	市内のバリアフリー対応施設などを記載した「ハートフルマップ」を作成、配布
平成16年度	「精神保健福祉ボランティア養成講座」を開催
平成17年度	「手話奉仕員養成研修」を実施（平成20年度まで入門課程および基礎課程を実施）
平成19年度	障害者が相談や交流できる場所として『地域活動支援センター「南国」』を開設
平成20年度	障害者などの自立生活支援の協議の場として「南国市障害者自立支援協議会」を設置
平成21年度	研修会「障害者の人権について」を開催
随時	公民館、図書館、市役所などのバリアフリー化（障害者用トイレやスロープなどの設置）や車いすなどの備品の整備、道路の点字ブロックの設置など

*主に南国市独自の事業の抜粋です。ほかにも法令などに基づき、さまざまな事業を行っています。

◆南国市で暮らしている障害のある方（平成21年度末現在）

身体障害者 手帳取得者 〔2,657人〕	視覚障害	142人
	聴覚・平衡機能障害	157人
	音声・言語・そしゃく 機能障害	32人
	肢体不自由	1,433人
	内部障害（心臓など）	893人
療育手帳（知的障害）取得者		326人
精神保健福祉手帳取得者		153人

南国市の障害者手帳取得者については、肢体不自由が最も多くなっており、取得者数は毎年増加傾向にあります。しかし、障害のある方すべてが手帳を取得しているわけではなく、さまざまな理由により取得されていない方もいます。南国市障害者基本計画は手帳の有無にかかわらず、心身に不自由がある方すべてを対象としています。